

# 町道一―一―号線の整備計画は早く作りたい

吉場 道雄 議員

**問** 町道一―一―号線は町としてどのような整備計画もっているのか。

**町長** 町道一―一―号線は将来熊谷市方面までつなぐ重要な幹線道路となる部分があり、将来の事を考えると道巾を広くして幹線道路にして行きたいと思う。

**再問** 江南町と同じ幅員10mで整備するのか、それとも未舗装部分の舗装だけなのか、またいつ頃出来るのか。

**町長** 未舗装部分の舗装で今年度は予算がなく出来ないが、できれば二百五十六mなので早く作りたい。

**歩道橋設置について**

**問** 七郷小学校の交通安全対策による県道深谷嵐山線アクセス道路交差点の歩道橋設置は、建設課長 設置の基準に合っていないので県としては考えていない。

**問** 子供達の通学途中の事が大変心配だが、交通指導員の配置ができないか。総務課長 実際交通の流れがどのようなになっているのか協議しながら検討したい。



早期整備計画が望まれる町道1-1 (古里地区)

**嵐山消防団の将来は**

**①問** 女性消防団員を新規に採用して町民の防災意識を高める事ができないか。

**②問** 自治消防団にくぎりをつけて消防団に一本化してはどうか。

**町長** ①他の市町村では風船やチラシを配りながら啓発し、ソフトの事業を行っている。今後検討したい。②消防団に一本化するのには難しい。団員確保は消防団の将来について極めて重要な問題であり、主旨を良く

話し合って協力してもらいたい。

**防犯推進条例の制定を**

**問** 犯罪のない安心して安全なまちづくりをめざして嵐山町防犯推進条例の制定はできないか。

**町長** 自分たちの街は自分たちで守ると言う考えはきわめて重要な事である。ボランティアを募集して防犯組織を結成していきたい。必要な条例なので作りたい。

# 行政策に取組む 考えは 実績を調査・評価し 今後どう生すか 検証する

三村 泰明 議員

**行政施策について**

**問** 多様な取組みを積極的に推進し事業化してきたが、企業倒産、リストラ、等により、税収の減少厳しい財政運営の中で、新事業を起すことは容易なことではない。そこで現在まで実施した事業を振り返り事業の実態調査及び個別評価をする必要有ると考える。プラン、ドウ、チェック、について伺います。

**又専門チームをつくり今後の行政策に取組む考えはないか伺います。**

**総務課長** 過去の実績を調査、評価し今後どう生かして行くか検証する、プランドウチェックは大事なことである。具体的にやっていない、厳しい状況下の予算で事業を行うには大事な要素である。一歩踏み込んだ予算編成に取組む考えである。

**又外部から見る専門チームをつくり調査研究する考えも一つの方法であると思ふので検討する。**

**湧き水の調査を**

**問** 自主財源の確保という点から発展的な開発も必要である。その谷間にある自然環境、かけがえのない財産である。かつてより町内至る所に湧き水がある、環境悪化により湧き水の危機にあり貴重な財産である湧き水を守る為、町内に何ヶ所あるか調査し周辺整備を進め後生に残せないかスポットをあてて見てはどうか伺います。周辺をミニビオトープ化し保全できないか伺います。

**環境課長** かつては湧き水は町内至る所にあり人々に密接な関係にあった。現在数ヶ所点在しているが調査は行ってない。今後湧き水情報を収集し、言い伝え名称、水量等を調査し記録を作成し、庁内で共有し今後大切な場所として生かして行きたい。又小さなものにもスポットをということなので周辺整備についても検討し自然保護を図って行きたい。

# 環境対策に 炭焼きを 検討する 価値は有る

小林 朝光 議員

**環境保全のために**

**問** 里山にはびこる孟宗竹、ナラの木、間伐材を炭としてCO<sub>2</sub>の削減、水の浄化、シックハウス予防又副産物の木酢は無農薬消毒剤と成る。町ガソリン車の年間CO<sub>2</sub>排出量約四九屯は約十四屯の炭として還元可能である。炭焼事業の推奨と共に補助金を出せないか。

**産業振興課長** 炭の効能は非常に大きいものがある。広葉樹保全策として草刈の実施、県では間伐材の有効利用を推進している。若木はCO<sub>2</sub>の取込も旺盛で有り炭

**問** 保留地の売却促進の為に民間不動産業者の活用と共に組合独自のホームページによる宣伝もするべきである。又借金が残った時の町の対応はどうか。

**都市計画課長** 今年一月に町内の全ての不動産業者にお願いをし二区画売約の成果が有った。ホームページも今後努力する。

**広報誌の横書統一は**

**問** 現在町の広報は縦書横書混成である。配布文書等横書が主流であり広報も統一してはどうか。

**総務課長** 数年前迄は広報とお知らせ版の二部構成であったのを一本化した。読み易く見やすい編集が最良であるので縦、横にこだわらず今のままで良いと思う。



八宮神社かれずの泉 (越畑地区)



炭焼き釜の風景 (遠山地区)